

優しさや愛は空気
なければ生きられない
でも、ふだんは見えない

空気感じるには
手を動かせばいい

優しさ感じるには
優しさ配ればいい

愛感じるには
愛を配ればいい

人は、なんで生きるんでしょ
それは、だれかを幸せにするため

水谷修 『JUNの授業』より

「夜回り先生」こと、水谷修さんは、自ら命を絶とうとする子や、危険な薬物に手を出す子供たちを救うために夜の街に出かけ、全国を駆け巡っておられる方です。

幸せにしてほしい、癒してほしいと、相手に求め、待つばかりの姿勢ではなく、自分から先に「やさしさをまわりに配ること」を始めるべきではないか、と若者に伝える水谷さん。

確かに、自分が人に優しくできたとき、「ありがとう」といわれると、その言葉が私の心をあたためてくれることがあります。

誰かの為にいきることが、自分の幸せにつながる。
人の幸せと、自分の幸せは、一つにつながっている。

水谷さんは私たちに大切なことを教えてくれています。

三笠市 善行寺 名和康成